令和４年度藁科生涯学習センター主催事業

はじめての読書会
「鳥の物語」を読む

全１回

文学者・中勘助が静養のために居住した服織地域。中勘助文学記念館で中さんが暮らした穏やかな空気を感じながら、珠玉の名作短編集「鳥の物語」をテーマに、作中に登場する12羽の鳥たちに思いを馳せる読書会を開催します。
事前に「鳥の物語」をお読みいただき、自分が好きなお話について紹介したり、自分が登場する鳥になったらどのように感じるかなど、自由に話し合いましょう。

11/26(土)午後１時30分～2時30分

場所　中勘助文学記念館（静岡市葵区新間）※現地集合・解散

●会費　１人500円　　●対象　18歳以上の人10人

●ファシリテーター(進行役)　佐藤剛史氏(作家・演出家、伽藍博物堂座長)

●持ち物　お持ちの方は「鳥の物語」(出版社：岩波文庫)

●申し込み　11/5(土)午後２時～、電話で藁科生涯学習センター
(☎054-278-4141)へお申込みください。(申込順)

◆12話全部読むのは時間もなくて大変！という方へ　関係者オススメのお話を紹介します！
よろしければ参考にしてみてください。

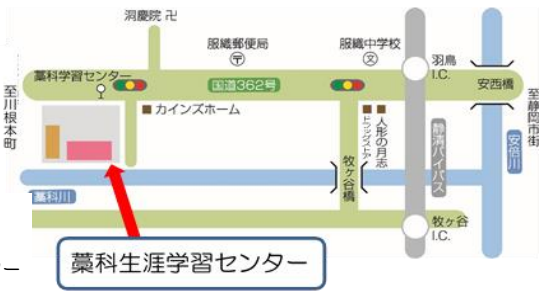
伽藍博物堂佐藤さんオススメ！
「雁(かり)の話」
中国の蘇武の話を基に描かれたスケールの大きなお話です。
物語最初のお話である「鶴の話」も短く読みやすいのでオススメ！

中勘助文学記念館和田さんオススメ！
「白鳥の話」
服織の子どもたちのために書かれた、地元ゆかりのお話です。
哀切の「鵜(う)の話」もオススメ！

藁科図書館職員オススメ！
「ひばりの話」
お姫様を救うために、失敗しながらも空を飛び続けるひばりたちのお話です。
最後はハッピーエンドです。

藁科生涯学習センター
指定管理者　公益財団法人静岡市文化振興財団
〒 421-1217 静岡市葵区羽鳥本町 5-9
☎ 054-278-4141
静岡市生涯学習センター
ホームページ

おかんじゃけ君
地域に伝わる郷土玩具
「おかんじゃけ」のキャラクター

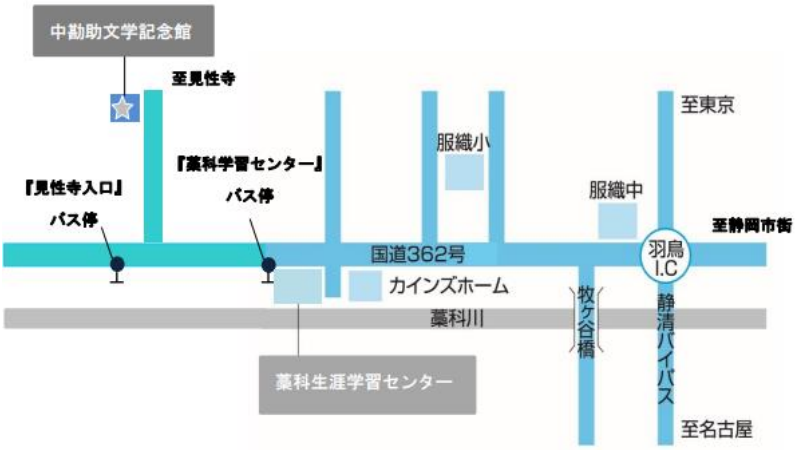


講師紹介　佐藤　剛史

愛知県出身。静岡大学理学部卒。劇作家。演出家。演劇企画「伽藍博物堂」主宰。日本演劇教育連盟会員、日本劇作家協会会員、磐田市高等学校演劇連盟講師、静岡県演劇協会員。市民参加型演劇、静岡市こどもミュージカル、SPAC 県民劇団などで、脚本、演出を担当。様々なカテゴリーの人たちを対象にした演劇ワークショップを企画。ファシリテーターとしても活動。自ら舞台に立つ「一人芝居」を県内外で、劇場でない場所でも上演。社会人によるモノローグの公演「穴の会」の立ち上げや、静岡市文化クリエイティブ産業振興センター主催の学生演劇創作プロジェクト「わが星」の演出など。

中勘助文学記念館について

中勘助（1885-1965）は、文豪 夏目漱石（1867-1916）の推薦で『東京朝日新聞』に連載した自伝的小説『銀の匙』で知られる、近代日本を代表する文学者のひとりです。1943 年、中勘助が転地静養と疎開のため居住した「杓子庵」を中勘助生誕 110 年、没後 30 年にあたる 1995 年、静岡市が整備復元し開館しました。氏の活動の顕彰の場、文化交流の場として、広く親しまれています。



中勘助文学記念館　アクセス

●所在地

〒421-1201

静岡市葵区新間 1089-120

●交通案内

バス しずてつジャストライン

藁科線「見性寺入口」下車 4 分

※公共交通機関でのご来場にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、日時、内容等を変更する場合がありますのでご了承ください。
※当日はマスクをご持参のうえご参加ください。
※講座当日に体温が 37.5 度以上または平熱比 1 度超過の発熱がある方、または咳やのどの痛み、強いだるさなど不調を感じる方は参加をご遠慮ください。